

令和3年度 建設業デジタル化促進モデル事業現場見学会（有限会社シミズ産業）

< デジタル化促進モデル事業の実施内容 >

導入機器：自動追尾型TS

< 参加者 >

9名（建設会社：4社5名、県職員：2名、市町村職員：2名）

< 工事概要 > ※ICT活用工事ではない

工事名：海陸常第12-1-2号 宿毛港湾海岸海岸陸こう等常時閉鎖推進工事

請負代金：13,860,000 円、工期：令和4年11月17日～令和5年3月25日

工事内容：施工延長 L=67.0m

陸こう閉鎖工N=1.0、箇所排水構造物工L=47.0m、防護柵工L=52.0m



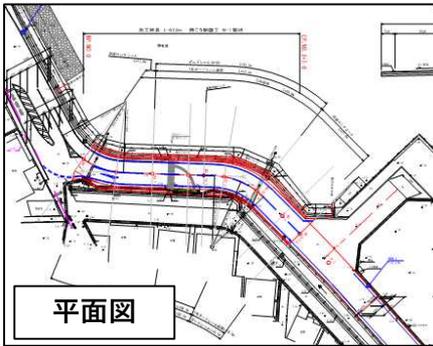
自動追尾型TS



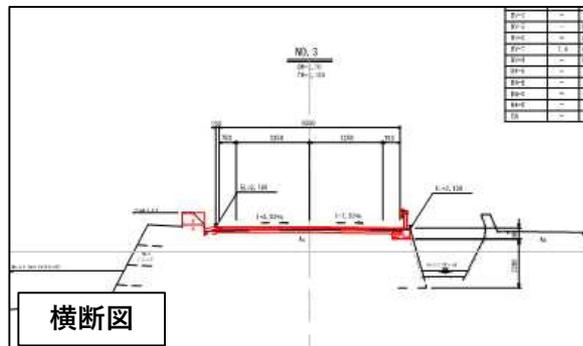
測量状況



施工者のコメント



平面図



横断面図

プロセス	使用機械等	従来	ICT	効果	評価
起工測量	自動追尾型TS	2人・日	1人・日	-50%	従来に比べ、各種測量にかかる準備や丁張りが短時間で完了し、コスト削減ができた。
3次元設計データ	—	—	—	—	—
ICT施工	—	—	—	—	—
出来形管理	出来形管理用TS	2人・日	1人・日	-50%	出来形測量にかかる人役を削減することができ、時間短縮ができた。
合計	—	13人・工	11人・工	-15%	今後のスキルアップで更に改善が可能

従来は2人で行う必要があったものが1人で行うことができ作業効率が向上した。
 今後は3次元データを使用した測量等にも取り組んでいきたい。

発注者のコメント

今回工事はICT活用工事としての施工ではないが、購入した自動追尾型TSと出来形管理用TSを日々の測量作業等に普段使いた。ひとりで測量・出来形確認を行うことができるため、従来手法よりも作業時間を短縮でき、ICTを活用したプロセスとしては、15%の省人化につながっている。測量作業等へのICT機器の普段使いが、現場の生産性向上に大きく貢献することが分かる事例である。